

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	組み込みシステム						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	必修科目(組み込みシステムコース)/選択科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	松崎 隆哲						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・組み込みシステムの基本的な構成要素を理解する。(A8,B5,B6,B7,C2,C3) ・組み込みシステムにおけるハードウェアとオペレーティングシステムの役割を理解する。(A8,B4,B7) ・プロセスの状態やスケジューリング手法について理解し説明することができる。(B6,C2,C3) ・例外・割り込み処理について理解する。(B6,C2,C3) 						
日程と内容	4/9 導入講義、組み込みシステムとは？ 4/16 組み込みシステムの現状と利用範囲 4/23 組み込みシステムのソフトウェアとは 4/30 プログラム管理 (マルチタスク) 5/7 プロセス管理 (プロセス、スケジュール) 5/14 プロセス間通信 (セマフォ、排他制御) 5/21 例外と割り込み処理 (ハードウェア機能) 5/28 例外と割り込み処理 (OS機能) 6/4 メモリ管理機構 6/11 メモリ管理機構 (仮想メモリ・実メモリ) 6/18 メモリ管理機構 (仮想記憶) 6/25 開始・終了と障害対処 7/2 プロセッサ周辺インターフェース 7/9 総合演習 7/16 総合演習 7/23 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	30%		100%			
授業到達目標の達成度	合格者によっては理解度に差があると思うが、合格者は授業の到達目標を達成しているといえる。						
反省点	組み込みシステムの実例や演習を多くしたところ、逆に授業内容が理解しにくくなってしまった。来年度は、授業内容を再度見直したい。						
来年度の計画	授業内容を理解しやすくするために、今年度多くした演習や実例を用いた説明について見直したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	受講している学生が変わっていることからある程度の目安であるが、昨年度と比べて多くのアンケート項目の評価が下がっている。 総合評価(8.6 → 8.0)、理解度(4.2 → 3.8)、わかりやすかったか(4.3 → 3.9)、時間外学習(3.4 → 3.7) 授業内容(水準)は保ったまま、学生の状況に応じて説明などを工夫していく必要があると思われる。						
履修登録者数	39名	定期試験 受験者数	38名	合格者数	34名	合格率	89%